

事務事業名	公園改修費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	03	課等の長	張ケ谷 昌彦	電話	4343

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園緑地内の改修を行うことにより、利用者の利便と安全を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に憩いと潤いの空間を提供する。 ※本事業の一部は令和元年度から、各市民センターから、公園課に事業を移し、全市的な視点に基づいて実施した。						
事業目的および必要性	公園利用者に対して安全で快適な利用環境を提供する。 市民の憩いの場である公園の安全を確保するため、公園内遊具の点検、施設の維持補修工事を実施することは必要である。また、市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークを整備するための手法として、維持管理を充実するほか、公園における健康遊具を充実することで、中高年の健康づくり等に役立てるとともに、幅広い年齢層の利用を図る。さらに、土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の安全度を調査し、隣接住民等を災害から守ることに寄与する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	都市公園法					
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 トレジャーボックス 他) (委託等内容 : 公園内遊具の定期点検 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名			指針体系コード		その他の計画との関連		
健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			4-2-31		本事業は「藤沢市健康増進計画」に位置づけられている。		
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
まちと自然環境の調和がとれていること			3.3 点	3.5 点	3.52 点	3.5 点	
健康づくりを支える環境が充実しているか			3.9 点	2.96 点	3.1 点	3 点	

令和元年度 支出済額 294,438 千円	事業費節別内訳			
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
	需用費	31,079 千円	公園施設修繕等	
	役務費	11,460 千円	フジ管理作業等	
	委託料	3,795 千円	遊具点検委託	
	使用料及び賃借料	4,251 千円	奥田公園駐車場管制設備賃借料	
工事請負費			243,853 千円	遊具改修工事, 健康遊具設置工事, 法面对策工事等
【参考】 令和2年度 予算額 224,958 千円	事業費節別内訳			
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容	
	需用費	29,766 千円	公園施設修繕等	
	役務費	13,315 千円	フジ管理作業等	
	委託料	26,836 千円	遊具点検委託	
	使用料及び賃借料	3,681 千円	奥田公園駐車場管制設備賃借料	
工事請負費			151,360 千円	遊具改修工事, 健康遊具設置工事, 法面对策工事等

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	3.50	3.50	3.50	3.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	3.50	3.50	3.50	3.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	1 公園内遊具271公園1,056基の点検実施 2 フジのある8公園にて育成管理の実施 3 法面のある2公園にて対策工事の実施 4 老朽化した遊具のある9公園にて14基の改修実施 5 健康遊具を9公園に20基増設 等						
	指標名	単位	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	備考
成果目標	公園施設の改修率	%	35	42	48	56	
	健康遊具設置数(累計)	基	130	142	172	195	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	備考
	改修実績件数	件	28	34	39	45	
	健康遊具設置数(累計)	基	138	157	181	204	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	改修実績件数	%	35	42	48	56	
	健康遊具設置数(累計)	基	138	157	181	204	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	155,429	144,729	184,342	328,484	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	157,244	145,608	184,719	328,454	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	123,484	111,774	150,992	294,438	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	33,760	33,834	33,727	34,016	
	①職員給与合計(常勤)	31,854	32,267	32,085	31,994	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,906	1,567	1,642	2,022	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,815	-879	-377	30	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-1,815	-879	-377	30	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	30,400	39,500	42,700	174,600	
(3)現金を伴う収入 (千円)	30,400	39,500	42,700	174,600		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	18,000	10,000	13,000	14,000		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他(起債)	12,400	29,500	29,700	160,600		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	125,029	105,229	141,642	153,884		
分析指標	項目	公園施設の改修率 F	35	42	48	56
			単位 %	単位 %	単位 %	単位 %
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	4,440,828.57	3,445,928.57	3,840,458.33	5,865,785.71	
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	294.11 425,105	246.15 427,501	329.92 429,317	355.34 433,060	
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公園利用における安全性を確保しつつ、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要。 遊具改修については、老朽化や破損状況に応じて改修時期の修正が必要。 健康遊具の充実と活用を引き続き進めることが必要。 土砂災害警戒区域内に位置する公園の安全調査、対策を引き続き進めることが必要。 トイレ等の施設の老朽化が進んでいる。
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	公園利用者の安全・安心のため、遊具点検や法面対策工事の実施などにより、継続的な安全対策を推進するとともに、老朽化した遊具などの状況に応じた改修時期の見直しを進める中で、施設改修を行った。
(3) 令和元年度末時点の課題	公園利用における安全性を確保するため、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要。 遊具改修については、老朽化や破損状況に応じて、長期的な視野に立った改修時期の修正が必要。 公園内の健康遊具は概ね充足しており、今後、既存の健康遊具の有効活用についての周知を進めることが必要。 土砂災害警戒区域内に位置する公園の安全調査、対策を引き続き進めることが必要。
(4) (3)解決のための今後の取組	公園利用者の安全・安心のため、遊具点検や法面調査などにより安全対策の検討を継続して行う。また、遊具については長寿化計画に基づき引き続き計画的に改修を進めるとともに、老朽化が進むトイレや管理棟などの施設の健全度調査を実施し、計画的な補修や改修を行う。 健康遊具については、設置されている公園の周知をホームページ等で行っていくとともに、関係各課と協力して有効活用に取り組んでいく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
		ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
	○	エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
	○	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの
	エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの	
	オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
(2) 財政的な特徴	③ 事業期間	
		ア=恒久的に実施するもの
	○	イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの
		エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和元年度支出済額	
	○	ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上～300,000千円未満
		ウ=30,000千円以上～100,000千円未満
	エ=5,000千円以上～30,000千円未満	
	オ=5,000千円未満	
⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合		
	ア=80%以上	
	イ=50～80%未満	
○	ウ=30～50%未満	
	エ=10～30%未満	
	オ=10%未満	
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		
○	ア=10%未満	
	イ=10～30%未満	
	ウ=30～50%未満	
	エ=50～80%未満	
	オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
3. 施設等維持管理	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいる。 少子超高齢化が進むとともに、公園利用者の年齢層及びニーズが変化している。 公園利用者の年齢層及びニーズの変化による施設の更新が求められる一方、より長く安全に使用し、利用促進・有効活用が図られる対策が必要となってくる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画については、神奈川県内16市・2町において策定されている。 	
市民ニーズ	把握方法	公園課への直接の要望だけでなく、地域に密着し、市民活動を支える業務を担う市民センター、公民館への苦情・要望をもとに、市民ニーズの把握を行うとともに、必要に応じて要望者と直接面談し、詳細に要望内容の聞き取りをした。 また、公園パトロール及び公園管理業務の受託者からの報告により状況の把握を行った。
	把握内容	公園の遊具やフェンスなどの施設の老朽化による破損の補修や、樹木の剪定、伐採作業等。
	対応等	要望確認や遊具点検、現地の確認結果に基づき、施設の補修や更新、樹木の剪定、伐採作業を行った。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>公園遊具の安全点検を行い、公園施設や遊具の改修を進めることで利用者の安全・安心の向上に寄与した。 市の花「フジ」の適切な育成管理を実施し、花つきの改善に引き続き取り組むとともに、新林公園に寄せ植えのフジを植栽した。 健康遊具の増設により、公園を健康増進の場として提供することに寄与した。 土砂災害警戒区域に指定されている公園法面について対策工事を実施し、安全性向上が図られた。</p>	
	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	<p>遊具点検の継続的な実施に取り組むとともに、老朽化が進むトイレ、管理棟などの建築物の定期的な健全性調査を実施し、計画的に補修を行うことで、公園利用者の安全・安心の向上に寄与し、事故防止を図る。 市の花「フジ」の適切な育成管理を行い、拠点づくりとネットワークの形成に取り組む。 法面調査と安全対策の検討を進め、緊急性のある法面から順次対策を講じ、公園利用者や近隣住民を災害から守る。 公園ストックの老朽化は今後もさらに進むことから、長寿命化を進めると同時に、地域ニーズに合わせた公園ストックの再編成・再整備を行い、将来に向かって施設数の適正管理と維持管理費の抑制を検討していく。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	都市公園の新設, 改良及び修繕に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------